

## 令和4年新年を迎えて

分所長 高木 敏彦

あけましておめでとございます。今年は大本開教一三〇年の年となります。三河本苑も本苑となつてから五〇周年を迎えまた新しい神の家がこの秋には完成の運びとなります。

一このめでたい年を記念して碧南分所だよりに載せてきた皆様方の手記を文集として発行したいと思ひます。貴重な体験談やお蔭話を記録して後世に残すことは、後継者育成にも役立つのではないかと念願しています。各信徒家庭に一冊ずつ配布予定ですので楽しみにしてください。

まだまだ寒い時期ですのでお体に気を付けて人型宣教にお励みください。

## 碧南分所だより

教主さまごあいさつ(直心会・全国青年部部長会議・令和三年一月二八日)より

出口 紅

Bonan matenon. Karaj geamikoi. Cu vi fartas bone? おはようございます。皆さま、お元氣ですか。お出ましくい中、またご遠方よりお越しいただき、このように久しぶりにお会いできましたことをとてもうれしく思います。本当にありがとうございます。

また、日頃から直心会、青年部の皆様には、聖地の献勞奉仕や後継者育成をはじめ教団護持や地方機関のお世話などにご奉仕いただき、本当にありがとうございます。感謝をしております。特に、直心会の皆さまには、障子貼りや草取りなど細やかなご奉仕をしていただいております。とを重ねて御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが発生し約二年がたちます。皆さまには、聖地や地方機関に集まる事が出来ず、活動も思う様にできず大変なご苦勞をなさつていられると思います。しかし、いろいろな工夫をされ新しいことや今までと違うやり方に挑戦されている様子を伺い、そのご活動は必ず今後にも繋がっていくのではないかと思います。新型コロナウイルスは、感染力の強い変異株が広がっていると伺い、この後どのように変移していくか判りません。引き続き、感染対策を行い、免疫力を高め、まずは自分の健康を守つていただきたいと思います。また、同調圧力もあると思いますが、危ないと思うものは体に入らず、自分の身は自分で守つていただき、特に、お子様については親御さんや大人が守つていただきたいと思います。どうぞよろしく願ひいたします。

そして、月に二、三回の土曜日は、大本本部・人類愛善会・四部会が交代で新型コロナウイルス終息祈願を全国に向けて発信しております。また、皆様には全国で毎日祝詞を上げ、新型コロナウイルスの終息祈願を行つていただき、有難く存じています。

お祈りの力は本当にすごいものです。私は、これらのお祈りのおかげで、大難を小難にさせていただいていると確信しています。また、皆様のお祈りは、波の様に広がり伝わっていきます。今後とも皆様とともに、それぞれの場所から新型コロナウイルス終息だけでなく、世界が平和になりますようにとお祈りを続けてまいりたいと思います。

さて、先日、誠心会と青松会の方々にリモートでごあいさつをさせていただきました。時と同じように直心会と青年部の皆さまにもお願いと言ひますか、私の思いを二つほどお伝えします。

一つ目は、皆さまにはなるべく多くの方に宣伝使を拜命いただき、み手代をご下付いただきたいと思います。み手代は神様から授けられた神器であり、神様のお取次ぎをさせて頂く尊い大切なご用です。多くの人がみ手代を護持して、お取次ぎをさせていただけるように

なれば、大きな力となります。特に、この一、二年は多くの方々が遠隔お取次ぎにより大きなおかげをたくさんいただかれています。お取次ぎいただく方はもちろんありがたいことですが、お取次ぎをさせていただく自分たちも、本当にありがたい経験をさせていただけます。み手代を頂かれた方のお喜びの声を聴きまして、このような喜びは皆で分かち合いたいと思えました。青年部の方はまだお若いので、これから宣伝使になっていただき、このような救いのご用にお仕えできるように、今から準備して頂きたいと思えます。

二つ目は、今回の教団方針の中にもあります人類愛善会の活動についてです。去年から始まった「ZENZO」は、まだまだ足りない項目もあるかもしれませんが、本部の担当者がグループごとにそれぞれ知恵を絞って100個の項目をあげました。その中には、同時に複数できる項目、一人ではできないもの、時間のかかるものなど内容により様々です。去年はできることから、そして得意なことから始めてくださいとお願いしました。来年の開教百三十年は、自分が今まで手をつけたことがないことで、ちよつと苦手意識があることにも挑戦して頂きたい

と思つています。始めてみると案外楽しくて、自分の中の新しい世界も広がっていくのではないかなと思います。絶対とは言いませんが、もし出来る方は一つでも新しいものに挑戦してみてください。

こつという大きな変革の時代ですが、これからは男性も女性も女性性というか母性というのは、優しさや細やかな気遣い、相手に寄り添う思いやりの心を持つて見守り育ていくことだと思えます。つまり見返りを求めない無償の愛であり、まさに神さまの愛そのものです。男性女性にかかわらず、そういう気持ちを大切に、まずはそれぞれの特性や個性を生かし、皆で高めあい日々向上し、実力をつけていただきたいと思えます。そのためには、考えることをやめず、行動することをやめないことが大切です。思考停止や活動停止に陥らないよう、皆様と共に日々少しずつでも前に進む努力を続け、温かく優しい思いやりに満ちた世界を築いていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

**主な行事予定**

令和四年

一月一日(土) 午前九時より

碧南分所元旦祭  
本苑新年祭 午前二時より

一月九日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当第二班

一月一六日(日) 午前一〇時より

本苑月次祭

一月二二・二三(土・日)

教本三級認定講習会 名古屋分苑にて

一月二六日(水)

人型締め切り 高木宅まで持参ください

二月三日(木)

大本節分大祭 梅松苑にて

二月一三日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当 第三班

二月二〇日(日) 午前一〇時より

本苑月次祭

**一月の誕生者**

おめでとつございます！

小川美子	一月三日	榊原 雄一	一月八日
鈴木佐保乃	一月八日	生田 吉治	一月四日
鈴木紋子	一月八日	藤浦ふじ子	一月二〇日
安藤香春	一月二五日	久野芳紀	一月三〇日
坂野唯	一月三〇日		